

「第2回はなやままるごとフェスティバル」

1. 趣旨

国立花山青少年自然の家を広く県内各地の方々に開放し、大自然の中でのさまざまな活動を通して施設の理解を図るとともに、家庭教育支援の一助とする。

2. 主催 くりはらから体験の風をおこそう 実行委員会

(事務局 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家)

3. 後援 宮城県教育委員会 栗原市教育委員会 河北新報社 ミヤギテレビ

4. 事業の概要

(1) 期日 平成28年10月22日(土)～10月23日(日)

(2) 参加者

①参加対象 家族

②参加人数 宿泊：72組家族268人(300名募集) 日帰り：610人

5. 企画・運営のポイント

- ①家族利用が可能であり、家庭教育の一助となる施設であることを多くの方に理解してもらうために、相部屋利用に理解を促し多くの家族を宿泊できるようにした。
- ②地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動を推進し、多くの人に体験活動の楽しさ、大切さを知ってもらうために、地域団体、公立、国立施設に協力を依頼し、できるだけ多くの体験コーナーを設置した。
- ③本施設で活動する学生ボランティアが、より自主的で活発な活動ができるようにボランティア企画を実施する機会を設けた。

6. 設置コーナーについて

【10月22日(土) 夜間】

①遊びリンピック ②ハロウィンOL(ボランティア企画) ③たき火ナイト

【10月23日(日) 日中】

① 絵葉書、しおり、缶バッジづくり ②丸太切り、竹とんぼづくり ③わたあめづくり

④幼児向けふわふわ ⑤いわなのつかみ取り、塩焼き ⑥アウトドア体験

⑦宮城の子どもたちの富士山登山報告 ⑧カブトムシゆかりさんの昆虫教室

⑨幼児向け生活力チャレンジ ⑩乗馬体験、ミニ動物園(山形最國村塾、一迫鈴木牧場)

⑪ジオパーク実験(栗原市ジオパーク推進室) ⑫ネイルアート(ネイルサロン コア)

⑬ツリークライミング(一迫林業研究会) ⑭キャンドルづくり(栗原市西部地域活動支援センター)

⑮ストラックアウト(国立那須甲子青少年自然の家)

⑯森のキーホルダーづくり(岩手県立県南青少年の家)

⑰スーパーボールロケット(国立磐梯青少年交流の家) ⑱スリッパ卓球(国立岩手山青少年交流の家)

7. 日程について

	10月22日(土)		10月23日(日)
15:00	受付	6:30	宿泊者起床
16:40	宿泊者インフォメーション	7:30	朝食・部屋清掃
17:30	夕食・入浴	9:30	開会式
	夜間イベント	11:30	利用者300万人記念式典
22:00	就寝		宮城の子どもたちの富士山登山発表
		15:30	終了

8. 主な活動内容



〔遊びリンピック〕



〔ハロウィンOL〕



〔たき火ナイト〕



〔記念式典の様子〕



〔ツリークライミング〕



〔岩魚のつかみ取り〕



〔スリッパ卓球〕



〔丸太切り〕



〔乗馬体験〕

9. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

〔宿泊者〕満足	82%	やや満足	18%	やや不満	0%	不満	0%
〔日帰り〕満足	57%	やや満足	33%	やや不満	10%	不満	0%

(2) 参加者の声

- ・いつもは体験できない活動にたくさん参加できました。興味ある活動ばかりで全部はできないほどでした。
- ・普段できない自然体験ができて、子どもたちがいきいきと楽しそうでした。
- ・素晴らしい事業です。秋の1日を素敵に過ごすことができました。来年もぜひ来たいです。

(3) 成果

- ①相部屋への理解を促し、宿泊者の人数を増やすことで、たくさんの参加者に恵まれ、多くの方に自然の家の利用について理解を得ることができた。
- ②地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動を推進するために、できるだけ多くの体験コーナーを設けることで、数多くの体験活動を提供することができた。

(4) 課題

- ①多くの体験コーナーを設置したところ、好評を得ることができた。今年度の準備、運営の状況を踏まえ、設置コーナーを検討していく。
- ②宿泊にあたっては全体インフォメーションを行ったが、宿泊室の清掃が徹底されなかった。今後の家族利用も考え、宿泊のルールをわかりやすく伝えることが必要である。

担当：企画指導専門職 奥山 洋